

〈解答〉

- ① (1) is called, by (2) were invited, by
 (3) ① were showed[shown], by ② was showed[shown], by
- ② (1) is making (2) was written (3) is spoken
- ③ (1) named the baby (2) made the boys (3) do, call, flower
 (4) made us sad
- ④ (1) is used by (2) was built in (3) this bird called (4) is known to
- ⑤ (1) The song is loved by many children.
 (2) When was your school built?
 (3) What language is spoken in your country?
 (4) The book is read by young people all over the world.

配点 ⑤各2点, 他は各1点 23点満点

〈解説〉

受動態

【1】受動態 「～される, された」のような受け身の表現は, 受動態で表す。

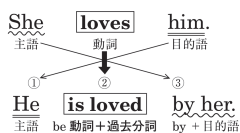
- (1) 能動態の文「AがBを～する」のように, 動作をするものが主語になっている文。
 (2) 受動態の文「BがAに～される」のように, 動作をうけるものが主語になっている文。
 (3) 受動態の形と意味

Ellen loves Tom.
 エレンは愛している トムを
 Tom is loved by Ellen.
 トムは愛されている エレンによって

{ 形 : **be 動詞+過去分詞 (p.p.)** (+ by + 人)
 意味 : ～される, されている

【2】受動態の文への書きかえ

(1) 受動態の文への書きかえ



- ①目的語→主語 *人称代名詞の場合, 目的格 (him) を主格 (he) に
 ②動 詞→be 動詞+過去分詞 (p.p.) *主語と時制による be 動詞の変化に注意
 ③主 語→by +目的語 *人称代名詞の場合, 主格 (she) を目的格 (her) に

*受動態から能動態への書きかえは, 上記の手順を逆に行えばよい。

(2) 〈by + 人〉の省略

次のような場合, 〈by + 人〉を省略する。ア) 前後の内容から, だれがその動作を行ったかわかる場合, イ) だれが行ったのかわからない場合, ウ) 一般の人々を指す場合など。

{ They speak English in Australia. 「オーストラリアでは英語を話している」 *この they はオーストラリアの人々を指している。→ウ)
 English is spoken **by them** in Australia. 「オーストラリアでは英語が話されている」

* (by + 人) が省略されている受動態の文を能動態へ書きかえる場合は, by them [people] や by us などを補って考えること。

(3) 受動態の現在形と過去形

{ 現在形 : **is [am, are] + 過去分詞 (p.p.)** 「～される, されている」 Tom **is loved** by Ellen. 「トムはエレンに愛されている」
 過去形 : **was [were] + 過去分詞 (p.p.)** 「～された, されていた」 Tom **was loved** by Ellen. 「トムはエレンに愛されていた」

【3】受動態の否定文と疑問文

{ 否定文 : 主語 + **be 動詞 + not + 過去分詞 (p.p.)** (+ by + 人 ~). Tom **isn't loved** by Ellen. 「トムはエレンに愛されていない」
 疑問文 : **Be 動詞 + 主語 + 過去分詞 (p.p.)** (+ by + 人 ~) ? **Is Tom loved** by Ellen? 「トムはエレンに愛されていますか」
 応答文 : **Yes**, 主語 + **be 動詞**. / **No**, 主語 + **be 動詞 + not**. Yes, he **is**. / No, he **isn't**.

【4】注意すべき受動態

(1) 第4文型 (SVOO) の受動態 二通りの受動態ができる場合がある。

Ellen 主語	told 動詞	<u>us</u> 目的語 (人)	<u>the story</u> 目的語 (もの)	「エレンは私たちにその話をしました」
<u>We</u> 主語 (人)	were told be 動詞 + 過去分詞	<u>the story</u> 目的語 (もの)	by Ellen.	「 <u>私たちは</u> エレンによって <u>その話を</u> 話されました」
<u>The story</u> 主語 (もの)	was told be 動詞 + 過去分詞	(<u>to</u>) <u>us</u> 目的語 (人)	by Ellen.	「 <u>その話は</u> エレンによって <u>私たちに</u> 話されました」

(2) 第5文型 (SVOC) の受動態

<u>We</u> 主語	call 動詞	<u>the girl</u> 目的語	Ellen. 補語	「私たちはその少女をエレンと呼んでいます」
<u>The girl</u> 主語	is called be 動詞 + 過去分詞	Ellen. 補語		「その少女はエレンと呼ばれています」

(3) by 以外の前置詞を使う受動態

- ・ **be interested in** ~ (～に興味がある) He is interested in music. 「彼は音楽に興味がある」
- ・ **be known to** ~ (～に知られている) Tom is known to everyone in this town. 「トムはこの町の人みんなに知られている」
- ・ **be surprised at** ~ (～に驚く) I was surprised at the news. 「私はその知らせに驚いた」
- ・ **be covered with** ~ (～におおわれている) Mt. Fuji is covered with snow. 「富士山は雪におおわれている」
- ・ **be made of** ~ (～で作られている〈材料〉) This desk is made of wood. 「この机は木でできている」
- ・ **be made from** ~ (～で作られている〈原料〉) Paper is made from wood. 「紙は木でできている」

* be made of か be made from か…目で見て材料がわかれば of. 見ただけでは元の原料がわからないような場合が from.